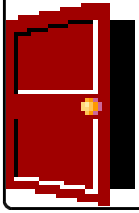


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No. 4

桑村小学校令和5年4月24日 文責 渡邊

読書通信NO.2、NO.3では、「詩」の読書推せん文の2年生の作品を紹介しました。今回は、3年生の作品を紹介します。

第3学年 秋山 みゆさん

紹介したい詩 作者 金子みすゞ

「春の朝」

すずめがなくな、いいひよりだな

うっとり、うっとり、ねむいな。

上のまぶたはあこうか、下のまぶたはまアだよ、

うっとり、うっとり ねむいな。

◆推せん文

すすめたい相手(学校のみんな)

この詩をすすめたいりゆうは、お父さんと詩を見ていたら、わたしににているなど思ったからです。なんでねむいのかお父さんにききました。お父さんは「冬は朝明るくなるのがおそくて、春になると明るくなるのが早くなるので、体の中の時計がまだあっていないからだよ。」と教えてくれました。みんなも朝ねむくないですか？それでもわたしは、学校が楽しいのでがんばっておきています。

※「春の朝」という詩は、とても優しい詩ですね。桑っ子の友達もみゆさんと同じで生活のリズムに慣れるまで眠たいのではないかと思います。お父さんとの会話も素敵ですね。体の中の時計について教えてもらったのですね。みゆさんの推せん文で校長先生がいちばん好きなのは、「みんなも朝ねむくないですか？それでもわたしは、学校が楽しいのでがんばっておきています。」の文章です。とても幸せに感じました。これからも楽しい学校をみんなで創っていきましょうね！

第3学年 荻島 しゅうあさん

紹介したい詩 作者 さむ

さいのうなんて関係ない 天才なんていない

何がすきで 何を信じて 何とむきあうか

心でかんじて生きよう

何か一つとむきあえたら あなたの人生にすごく大きなものを手にできるから

◆推せん文

すすめたい相手(お兄さんへ)

ぼくは空手をがんばっています。どんなにれんしゅうしてもできないことがあるけれど、兄のように一つのことをがんばりつづけたらいいこともたくさんあるんだと思います。この詩は、きついれんしゅうをがんばれる力になります。「天才なんていない」のことがすきです。

※「天才なんていない」という言葉が好きというしゅうあさん。お兄さんの姿を見て、練習を続けることの大切さを感じたのですね。これは、しゅうあさんの感性が豊かであるからそう感じたのだと思います。とても素敵な推せん文をありがとう。

第3学年 いわもと かほさん
紹介したい詩 作者 金子みすゞ
「竹とんぼ」

キリリ、キリリ、竹とんぼ、あがれ、あがれ、竹とんぼ。
にかいのやねよりまだ高く、一本すぎよりまだ高く、かつらぎ山よりまだ高く。
わたしのけずった竹とんぼ、わたしのかわりにとびあがれ
キリリ、キリリ、竹とんぼ、あがれ、あがれ、竹とんぼ。
お山のけむりよりまだ高く、ひばりのうたよりまだ高く、
かすんだお空をつきぬけろ
けれどもきつとわすれずに ここの小みちに下りてこい。

◆推せん文

すすめたい相手(お母さんへ)

わたしは、この詩を読んで竹とんぼみたいに空高くとびたいと思いました。ふじ山より高くとんで、自分のまめつぶみたいな家を見てみたいです。お母さんも高くとんだときのことをそうぞうしてみてください。こんど竹とんぼをとばすときに遠くにとばしてみたいです。

※この詩の竹とんぼのように空高く飛びたいと思ったかほさん。それも富士山よりも高く飛びたいと思ったことは素敵だなと校長先生は感じました。それは、かほさんのイメージがとても豊かであると思えたからです。想像力を発揮することはとても楽しいですよ。きつとお母さんにも、かほさんの思いが届いたことと思います。

第3学年 森 しゅんやさん
紹介したい詩 作者 金子みすゞ
「わたしと小鳥とすずと」

わたしがりょう手をひろげても お空はちつともとべないが
とべる小鳥はわたしのよう 地めんをはやく走れない
わたしが体をゆすっても きれいな音はでないけれど
あなるすずはわたしのよう たくさんのうたは知らないよ
すずと、小鳥と、それから わたし、みんなちがって、みんないい

◆推せん文

すすめたい相手(やさしい桑っ子のお友だちへ)

みんなとくいなことはちがう。こせいもばらばらだけどみんないい。やさしいところもちがい、がんばるところもちがう。すきなこともちがって、とりくむこともちがうけどみんないい。このままの自分でいいんだと思った。

※桑っ子の仲間にしゅんやさんの思いが伝わることと思います。今年度、桑村小学校は「夢に向かい感性を育む桑っ子」に向けて取り組みます。一人一人の得意なことが発揮できる魅力ある学校をみんなで創っていきましょうね。

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」(4月24日号)を読んでの感想
()年()月()日